

法人（事業所）理念	笑顔で咲かせる、ひとりひとりの「できるよるこび」を大切に、周りへ「親切」・「丁寧」・「笑顔」でいられる人間力を培います。
支援方針	オーダーメイド教育：ソーシャルスキルトレーニングを中心とした、お子さまの発達や特性に合わせた療育プログラムの提案実施。 個別と集団療育のプログラムを兼ね合わせた専門性の高い療育提供。保護者支援（レスパイトケア）を実施、お子さまと共に安心して利用できる施設として、ご家族と環境への支援を行います。
営業時間	9時0分から18時0分まで 送迎実施の有無 あり なし

	ねらい	支援内容	具体的な活動や支援内容
--	-----	------	-------------

健康・生活	(a) 健康状態の維持・改善 (b) 生活のリズムや生活習慣の形成 (c) 基本的な生活スキルの獲得	(a) 健康状態の把握 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なチェックと必要な対応を行う。その際、患部等が顕著であるお子さまの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 (b) 健康の増進 睡眠、食事、排便等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を習む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自閉具等に関する支援を行う。さらに、病気の予防や安全への配慮を行う。 (c) リハビリテーションの活用 日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれのお子さまに適した身体的、精神的、社会的訓練を行う。 (d) 基本的な生活スキルの獲得 身の回りを清潔にし、食事、衣服の管理、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する。 (e) 構造化等により生活環境を整える 生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化する。	来所時に体温測定を行い、健康状態を確認する。手洗いや、うがいの徹底を行い、靴や荷物の整理を行ってもらう。来所したら、まず学校の課題に取り組み首肯を身につけてもらうように支援します。おやつ時間の備忘録実施もしくは、小集団によるソーシャルスキルトレーニングを実施。日常生活に必要なスキル（食事、排泄、着替えなど）の習得を支援し、教室の白旗に慣れ、規則正しく生活が行えるように支援します。 (靴磨きの整理整頓、学習後の筆箱やプリント類を所定の場所に整えるように声かけを行う事で習慣化し、本児の自主的な行動ルーティン化出来るよう努めます。)
	(a) 姿勢と運動・動作の向上 (b) 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c) 保持する感覚の統合的な活用	(a) 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動、動作の改善及び習得、関節の内縮や変形の予防、筋力の増進、強化を図る。 (b) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 姿勢の保持や姿勢の運動、動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるように支援する。 (c) 身体の移動能力の向上 自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。 (d) 保持する感覚の活用 保持する感覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援する。 (e) 感覚の補助及び付与手段の活用 保持する感覚器官を用いて状況を把握しやすい状況や補聴器等の各種の補助機器を活用できるように支援する。 (f) 感覚の特性（感覚の過敏や鈍感）への対応 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍感）を踏まえ、感覚の振りに対する環境調整等の支援を行う。	体操などを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動能力の向上を目指します。カーペットなどの異なる運動や動作を組み合わせた活動を通して、筋力、持久力、柔軟性などの運動能力を養います。注意して取り組み、集中して取り組めるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。

運動・感覚	(a) 認知の発達と行動の習得 (b) 空間・時間、数等の概念的な習得 (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	(a) 感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 (b) 短知から行動への認知過程の発達 環境から情報を処理し、そこから必要メッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 (c) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。 (d) 数量、大小、色等の習得 数量、形の大小で、量、色、色の違い等の習得のための支援を行う。 (e) 認知の振りへの対応 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の振り等の特性に配慮する。また、こだわりや偏執等に対する支援を行う。 (f) 行動障害への予防及び対応 感覚や認知の振り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援を行う。	買い物や料理を通してお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を提供します。また、ボードゲームを遊びながら空間・時間、数の概念を学び、覚えます。お子さまが自ら問題を解決する機会を与え、教材や教具を用いて視覚的に理解しやすい支援を行います。 ディスカッション形式で、意見を出し合い他患の意見への質問や助言を行う機会をつくり、認知力の強化、異文化出来る環境設定を行い支援を実施します。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。
	(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び発出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	(a) 言語の形成と活用 身体的な特徴と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 受容言語と発出言語の支援 読み書き各様の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、発出する支援を行う。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 慣れた環境で場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読み書き能力の向上のための支援 読書習慣のお子さまなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択し、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。	来所時からの、「ただいま」「おかえり」の自発的な発言を習慣化し、他患への関心を付けて、コミュニケーションの形成を行います。また、コミュニケーションの形成の意味を体験的学習を繰り返して、知覚を増やし「できる」よるこびを体感して成功体験を積み上げます。また、相手の話や聞き取る態度を職員が介入し、正しいコミュニケーション能力を身につけてもらう支援を行います。 (ディスカッション形式にて、自分の意見や考えを伝えるような環境を創り、他患の意見に対しての受け答え、賛辞等を行ってまいります。)

本人支援	(a) 認知の発達と行動の習得 (b) 空間・時間、数等の概念的な習得 (c) 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	(a) 感覚や認知の活用 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 (b) 短知から行動への認知過程の発達 環境から情報を処理し、そこから必要メッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。 (c) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。 (d) 数量、大小、色等の習得 数量、形の大小で、量、色、色の違い等の習得のための支援を行う。 (e) 認知の振りへの対応 認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の振り等の特性に配慮する。また、こだわりや偏執等に対する支援を行う。 (f) 行動障害への予防及び対応 感覚や認知の振り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援を行う。	買い物や料理を通してお金の使い方や計算、時間の管理などを学ぶ機会を提供します。また、ボードゲームを遊びながら空間・時間、数の概念を学び、覚えます。お子さまが自ら問題を解決する機会を与え、教材や教具を用いて視覚的に理解しやすい支援を行います。 ディスカッション形式で、意見を出し合い他患の意見への質問や助言を行う機会をつくり、認知力の強化、異文化出来る環境設定を行い支援を実施します。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。 おやつ時間の異なるような環境を整え、楽しく取り組めるよう支援を行います。
	(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び発出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	(a) 言語の形成と活用 身体的な特徴と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 受容言語と発出言語の支援 読み書き各様の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、発出する支援を行う。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 慣れた環境で場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読み書き能力の向上のための支援 読書習慣のお子さまなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択し、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。	来所時からの、「ただいま」「おかえり」の自発的な発言を習慣化し、他患への関心を付けて、コミュニケーションの形成を行います。また、コミュニケーションの形成の意味を体験的学習を繰り返して、知覚を増やし「できる」よるこびを体感して成功体験を積み上げます。また、相手の話や聞き取る態度を職員が介入し、正しいコミュニケーション能力を身につけてもらう支援を行います。 (ディスカッション形式にて、自分の意見や考えを伝えるような環境を創り、他患の意見に対しての受け答え、賛辞等を行ってまいります。)

言語コミュニケーション	(a) 言語の形成と活用 (b) 言語の受容及び発出 (c) コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d) コミュニケーション手段の選択と活用	(a) 言語の形成と活用 身体的な特徴と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 (b) 受容言語と発出言語の支援 読み書き各様の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、発出する支援を行う。 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 慣れた環境で場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 (e) 読み書き能力の向上のための支援 読書習慣のお子さまなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 (f) コミュニケーション機器の活用 各種の文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択し、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるように支援する。	来所時からの、「ただいま」「おかえり」の自発的な発言を習慣化し、他患への関心を付けて、コミュニケーションの形成を行います。また、コミュニケーションの形成の意味を体験的学習を繰り返して、知覚を増やし「できる」よるこびを体感して成功体験を積み上げます。また、相手の話や聞き取る態度を職員が介入し、正しいコミュニケーション能力を身につけてもらう支援を行います。 (ディスカッション形式にて、自分の意見や考えを伝えるような環境を創り、他患の意見に対しての受け答え、賛辞等を行ってまいります。)
	(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 (b) 自己の理解と行動の調整 (c) 仲間づくりと集団への参加	(a) アタッチメント（愛着行動）の形成 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (b) 集団行動の支援 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の習得を促す。 (c) 感情運動遊びから感覚遊びへの支援 感情運動遊びから感覚遊びへと移行できるように、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の感覚遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (d) 一人遊びから協調遊びへの支援 仲間・子どもをいとも関わりながら、人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (e) 自己の理解とコントロールのための支援 大人を介在して自分の得意なこと、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 (f) 集団への参加への支援 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。	グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。お友達との遊びの場面では、職員が関わりながら同じ遊びに興味を持たせ、人との交流を楽しめるようサポートします。自分の本意の行動を行うと、他者との関係性を築けない事を繰り返し指示、指導を行い良好な人間関係の構築を成功体験として自信をつけていきます。 (活動中に意図の相違が発生した時点で、職員より問題の整理を行います。 ます、①問題→②提案→③解決の手順を示し、④相手への提案を行ってもらい、お互いの意見交換・譲歩を行う習慣を付け、日々の生活の中で実践してまいります。)

人間関係 社会性	(a) 他者との関わり（人間関係）の形成 (b) 自己の理解と行動の調整 (c) 仲間づくりと集団への参加	(a) アタッチメント（愛着行動）の形成 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 (b) 集団行動の支援 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の習得を促す。 (c) 感情運動遊びから感覚遊びへの支援 感情運動遊びから感覚遊びへと移行できるように、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の感覚遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (d) 一人遊びから協調遊びへの支援 仲間・子どもをいとも関わりながら、人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 (e) 自己の理解とコントロールのための支援 大人を介在して自分の得意なこと、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 (f) 集団への参加への支援 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。	グループでの協力やコミュニケーションを促す活動を通じて、他者との関わりや協力の重要性を学び、社会的スキルを育てます。お友達との遊びの場面では、職員が関わりながら同じ遊びに興味を持たせ、人との交流を楽しめるようサポートします。自分の本意の行動を行うと、他者との関係性を築けない事を繰り返し指示、指導を行い良好な人間関係の構築を成功体験として自信をつけていきます。 (活動中に意図の相違が発生した時点で、職員より問題の整理を行います。 ます、①問題→②提案→③解決の手順を示し、④相手への提案を行ってもらい、お互いの意見交換・譲歩を行う習慣を付け、日々の生活の中で実践してまいります。)
	(a) 家族療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、専任付きでサービス提供記録にお伝えします。 ・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。 ・個別療育の機会の作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。	移行支援	必要に応じて学校(園)に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・事業所での様子他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等でお伝え、日々の様子の情報交換を行います。 ・学校(保育園・幼稚園)への送迎時、先生と学校(園)での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。

家族支援	(a) 家族療育や集団療育にて行った活動の内容を送迎時(お迎え時)や、専任付きでサービス提供記録にお伝えします。 ・6ヶ月に1回程度、モニタリングとは別で面談の機会を設け、保護者に共有していきます。 ・個別療育の機会の作り、保護者に対して支援のポイントや関わり方のフィードバックを行います。	移行支援	必要に応じて学校(園)に訪問し、児童との関わり方について情報共有、支援方針を計画します。 ・事業所での様子他事業所や相談支援に対し、訪問、電話等でお伝え、日々の様子の情報交換を行います。 ・学校(保育園・幼稚園)への送迎時、先生と学校(園)での様子や事業所での過ごし方の情報共有を行います。
	(a) 関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集、役割分担に関して協議します。 ・各関係機関の情報を基に、具体的な場面での関わり方や、困りに関しての提案やポイントを共有します。 ・セルフプランの方には利用計画のコーディネートの中核を担う事業所の開催する会議に参加し、情報共有を行います。	職員の質の向上	プロッソムグループ本部にて下記研修実施 ・スタッフ研修 ・専門職員によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体障害者適正化研修 ・感染症対策研修 その他 児童ミーティングにて他教室との情報・意見交換実施

地域支援・地域連携	関係機関で役割分担し、情報を共有を行います。 ・連携会議を定期的に開催し、情報収集、役割分担に関して協議します。 ・各関係機関の情報を基に、具体的な場面での関わり方や、困りに関しての提案やポイントを共有します。 ・セルフプランの方には利用計画のコーディネートの中核を担う事業所の開催する会議に参加し、情報共有を行います。	職員の質の向上	プロッソムグループ本部にて下記研修実施 ・スタッフ研修 ・専門職員によるスキルアップ研修 ・虐待防止研修 ・身体障害者適正化研修 ・感染症対策研修 その他 児童ミーティングにて他教室との情報・意見交換実施
-----------	---	---------	---

主な行事等	・季節行事 ・近隣施設や公園への外出活動		
-------	-------------------------	--	--